

ペナン・エコタウンワークショップ報告

第9回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム
2013年1月30-31日 川崎市産業振興会館

公益財団法人 地球環境センター
事業部企画調整課 土居亜希子



「エコタウンに関するレビューと計画のためのワークショップ」

エコタウン形成に係る情報・経験の共有と
アジアにおけるエコタウンコンセプトの促進に向けて

- **日時** : 2012年12月11-13日
- **会場** : マレーシア、シティテル・ペナン・ホテル(12月11日、13日)
現地視察(12月12日)
- **主催** :
 - 国連環境計画・国際環境技術センター UNEP/International Environmental Technology Centre (UNEP/IETC)
 - ペナン州政府 Penang State Government
 - ペナン島市政府 Municipal Council of Penang Island (MPPP)
 - スブラン・プライ市政府 Municipal Council of Seberang Perai (MPSP)
 - 公益財団法人 地球環境センター Global Environment Centre (GEC)

ワークショップの主な目的

1. アジアにおけるエコタウン形成の取組みに関するレビュー
2. IETCエコタウンプロジェクト・フェーズ1の成功事例としてマレーシア・ペナンの取組みを紹介
3. アジアでエコタウンコンセプトを促進するためのStrategy Paper (計画策定指針報告書)の作成
4. エコタウンプログラム・フェーズ2に向けた計画の発表

「エコタウンに関するレビューと計画のためのワークショップ」



ワークショップ1日目の内容

- エコタウンプロジェクトフェーズ1について
- マレーシア・ペナンからの取組み発表
- インドネシア・バンドンからの取組み発表
- アジア各都市から廃棄物管理と課題についての発表
- エコタウン形成に向けた環境技術及びデータベースの紹介
- IETCよりStrategy Paperとフェーズ2の計画について発表



ワークショップ2日目(視察)

＜視察の概要＞

- 現地及び海外参加者ら約40名が参加
- ペナンの市民、企業、自治体による様々なエコタウンに関する活動を視察(6箇所)
 - ごみ分別、リサイクル、コンポストなど3Rに関する活動
 - 食品廃棄物を肥料化する環境技術を導入したプログラムなど

ワークショップ2日目(視察①)



Taman Bagan Lalang ゼロ廃棄物コミュニティー訪問

ワークショップ2日目(視察②)



Permatang Nibong村 リサイクルプログラムの見学

ワークショップ2日目(視察③)



Taman Desa Damai 環境リソースセンター見学

ワークショップ2日目(視察④)



フードコートセンターからの食物廃棄物リサイクルの取組み“Food to Food”プロジェクト



アドベンチャーパーク “Escape” 環境配慮型遊園地の見学

ペナンの現地視察(まとめ)

＜成功要因の考察＞

- 自治体がエコタウンコンセプトに基づく環境啓発イベントや協働プロジェクトを企画・実施した結果、市民のイニシアティブ事業へと発展
- ごみ削減活動に貢献した市民には表彰、賞金などのインセンティブが与えられるシステムがあり、それが持続的・発展的活動へとつながっている
- 現地に適切な環境技術を積極的に導入している
- 企業もCSR活動の一環として資金を提供し、活動に参加
- 自治体、市民、企業がそれぞれの役割を持ち、相互に協働・促進しながらエコタウン開発を効果的に進めている

ワークショップ3日目の内容

- UNEP IETCによる「技術の持続可能性評価方法 (SAT)」の研修
- SAT方法論を適用する際の問題点・課題についてグループディスカッション
- ペナンの事例紹介(コミュニティー、学校、企業の取組み)
- アジア各都市から今後のエコタウン計画についての発表(ペナン州スブランプライ市、スリランカ、タイ、インドネシア、パキスタンの各都市)



ワークショップの効果

- 海外参加者らはペナンのエコタウン事業関係者の説明に加え現地視察に参加したことで、より深い理解と情報共有を得ることができた。
- 現地関係者、参加者間とネットワークを構築する良い機会となった。
- エコタウンプロジェクトのフェーズ2の実施に向けて、エコタウンコンセプトをアジア各都市に効果的に促進できた。

ご清聴ありがとうございました
Thank you very much!

